

自己評価結果公表シート

2021年度

幼保連携型認定こども園

八戸の里幼稚園

1. 本園の教育目標

[情操豊かな思いやりのある子ども] を目指しています。

- ・豊かな情緒のもと自己を十分に発揮し、自分でものを考え、何でも自分で出来、やる気十分な子ども。
- ・他の人々と親しみ、支えあい、思いやり、生きていける子ども。
- ・身近な環境に親しみ、自然と触れ合うなかで情緒豊かで観察力を身につけた子ども。

2. 本年度重点的に取り組む目標

昨年度に続き本年度も、新型コロナウイルスの関係で行事予定が変更になったり、休園になったりと保護者へ連絡することが多くなって来ている。また、園生活の中でも密にならない様に環境を考え直す事が必要になって来ている。そこで、本年度は、保護者への対応、環境の構成に取り組んで行きたい。

3. 評価項目と達成状況

評価結果の表示方法

- A - 達成されている
- B - ほぼ達成されている
- C - 取り組まれているが、もう少し努力が望まれる
- D - 取り組みが不十分である

① 保護者への対応

評価結果

1・メール、電話などで緊急な連絡等を行っている。	A
2・個々の子どもの様子は、直接話をしたり電話などを使って話し合っている。	A
3・自分の考えをきちんと話し、保護者の話を心を開いて良く聞いている。	A
4・保護者からの様々な訴え、要望などは安易に受けたり断ったりしないで、園長と相談している。	A

② 環境の構成

1・安全で清潔な環境構成をしている。	A
2・幼児が主体的に関わりたくなる様な環境構成をしている。	B
3・遊びに必要な遊具、用具などを数量を配慮して用意している。	A
4・幼児の発達や生活を見通して環境構成をしている。	A
5・季節の変化に応じた環境構成をしている。	A

4. 取り組み状況

出来るだけ保護者の方に、日々子ども達の様子やエピソードなどを伝えるようにしている。また、環境構成については子ども達がどんな遊びに集中しているかをよく観察して遊びのコーナーを考えている。

コロナ禍で制限されている事も多いが今の時期にしか出来ない事をさせてあげたいと思っている。

5. 総合的な評価結果

①保護者への対応	—	A
②環境の構成	—	A

保護者への対応に於いても、大きなトラブルもなく日々の活動の様子を伝えられたものと思っている。また、日々の消毒や食事時のシールドの使用など大変な事が続いている中で子ども達が楽しめる環境構成が出来たと思う。

6. 今後取り組むべき課題

遊びのコーナーの内容にも、もう少し工夫を凝らし季節感を出せたらと思っている。

また保護者とも、更に密な関係を築けるよう努力していきたい。

7. 学校関係者の評価

①保護者への対応	—	A
②環境の構成	—	A

行事が中止となり残念なこともあるが、菜園・伝統行事など季節を楽しむ事が出来る。園外活動が制限されるので、園内で魅力的な遊びを考えて頂きたい。

バス通園の保護者にも、降園時にその日の保育内容を伝えたり、事あるごとに園の様子を手紙や電話で知らせて下さるので安心して子どもを預けられます。

学校関係者委員会名簿

NO. 3

前川 和司	保護者会会長
小林 義人	保護者会副会長
岡田 万由	保護者会副会長
永井 恵美子	保護者会会計
榛木 由紀	保護者会会計監査
富田 直子	保護者会書記
森 裕子	保護者代表
土山 佐代子	元職員
市川 洋子	キンダーカウンセラー